

今年度標語

「ヤコブは次の朝早く起きて、枕にしていた石を取り、それを記念碑として立て、先端に油を注いで、その場所をベテル（神の家）と名付けた。（創世記28:18.19）」

2020年9月13日 (No24)

主日礼拝

司会：吉田公子 奏楽：松村宣恵

前奏 讃美歌 85 (二回) 祈り 聖書 エレミヤ書 28章 5~17節 (旧約聖書 1228頁) ヨハネ福音書 8章 39~47節 (新約聖書 182頁) 讃美歌 132 「都合が良いということ」 説教 「都合が良いということ」 五味 一 牧師 讃美歌 528 献金と感謝の祈り 主の祈り 62 頌栄 キリストの平和が (1・5) 祝禱 報告

【今週の集会】

◇一緒に聖書を読み祈る会

・9月9日(水) 午後7時 コリントの信徒への手紙 ー16章 1~4節 (新約聖書 323頁)

讃美歌 411、474

【次週の予定】

◇主日礼拝

・9月20日(日) 午後2時 礼拝堂

・聖書 エレミヤ書 50章 4~7節 (旧約聖書 1271頁)

ヨハネ福音書 10章 1~6節 (新約聖書 186頁)

・分かち合い礼拝 聖書の言葉と一週間

みなさんで

・讃美歌 157、441

【来週の礼拝司会者を決めましょう】

- ① 和田智子 ② 広瀬秀幸 ③ 秋山里子 ④ 佐々木実 ⑤ 吉田公子 ⑥ 伊藤知之 ⑦ 山根耕平 ⑧ 岸澤恵美 ⑨ 高崎晋 ⑩ 山本潔 ⑪ 早坂潔

【集会統計】

Table with 3 columns: 集会名, 参加者, 献金. Rows: 主日礼拝 (9月6日) 24名 (子1名) 8,091円; 祈禱会 (9月9日) 7名

◇こんな会堂、こんな納骨堂にしたい、建物の内容を、

みんなで語りあうおしゃべり会報告：9/6 礼拝後、山之内設計士を交えて、午後4時40分まで実施。出席者がそれぞれ建物について質問、希望を出しました。次回は10月開催の予定。

♪本日の讃美歌♪

#讃美歌528「あなたの道を」。詩編37:5「あなたの道を主にまかせよ」をトップにおいた「苦難と慰め」の歌。作詞はドイツ最高の讃美歌作詞家パウル・ゲルハルト(1607-76)。彼の生涯は、30年戦争と重なり、悲惨な戦争による人心と社会の疲弊、個人的にも子どもや妻に先立たれるなど多くの悲しみと苦難の中で、ひたすら神の恵みに信頼する讃美歌を作りました。ゲルハルトの詞の特徴は、聖書に精通していながら、しかしそれが説教的、教条的にならないで、歌の中に宝石のようにちりばめられて輝いていることです。旋律は、ヨハン・ミヒヤエル・ハイドン(1737-1806)です。

【べてる関係報告】

◇9月19日(土) べてる開所 イチゴ作業 ◇9月19日(土)・20日(日) リカバリー全国フォーラム2020 参加：伊藤知之、朴明敏 ※9月19日(土)・20日(日)にべてるのメンバーが加工したイチゴが白老町の施設「ウポポイ」で販売されます

頌栄 キリストの平和が

- 1. キリストのへいわが わたしたちのこころのすみずみにまでゆきわたりますように 5. キリストのゆるしが わたしたちのこころのすみずみにまでゆきわたりますように

新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

【本日の集会】

◇主日礼拝 午後2時 礼拝堂 ◇お茶の会は、コロナウイルス感染拡大防止のためお休みしています。

【先週の説教要旨】**「まわり道」**

出エジ記 13:17-22

ヨハネ 8:12-20

しばらく教会から遠ざかっていた女性が、夜の祈禱会に出席するようになりました。彼女は祈るとき決まって、「神さま、イエスさま」と呼びかけました。教会では、多くの人が「主なる神」「愛なる神」「憐れみ深い神」「恵み深い神」、異論はあるものの「父なる神」「天のお父様」と、神に呼びかけます。なかには、天地創造からはじまって、歴史を回顧し、東西南北、地の果てから愛する者を集めたもう全能の神、というような長いながい説明をつけて呼びかける方もおられます。

祈禱会で旧約聖書を学ぶことで、彼女は彼女なりに「神さま、イエスさま」を自分の神への呼びかけとされたのでしょうか。ともすれば無意識のうちに使っている「神」或いは「主」と「イエス」。みなさんは自分の言葉になっているのでしょうか。実にこれがヨハネ福音書のテーマです。イエスとユダヤの人々、ユダヤの指導者たち、イエスの弟子たちとの間で繰り返される論争は、すべて「イエスは誰か」です。ユダヤ人たちが父祖から受け継いできた「出エジプトの神」「モーセに律法を与えた神」と、「イエス」はどういう関係にあるかということです。

イエスは、「自分がどこから来たのか、そしてどこへ行くのかを知っている、だから、自分が誰であるかを証しすることが出来る」(ヨハネ 8:14)と。「わたしはひとりではなく、わたしをお遣わしになった父と共にいるからである。わたしをお遣わしになった父もわたしについて証しをしてくださる」と。父とは、いうまでなく「イエスをこの世にお遣わしになった父なる神」です。

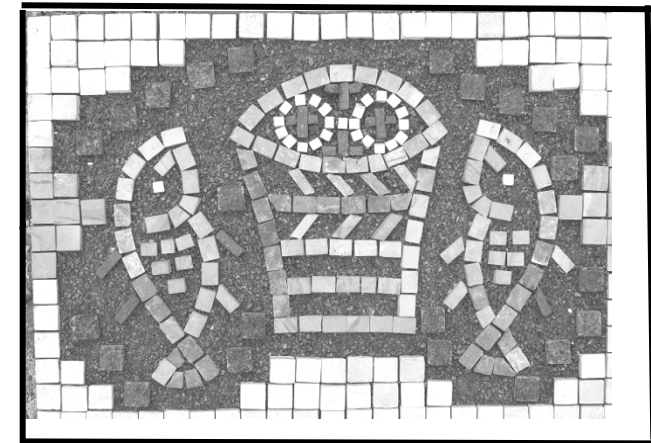
いまや神は、シナイの律法ではなく、神が遣わしたイエスによって完全に示されています(ヨハネ 1:18)。イエスと旧約聖書が伝える神とは一つです。出エジプトの神、シナイ山でモーセに律法を与えた神が、イエスをこの世に遣わされたのです。人間であるイエスを通して、わたしたちは、見えない神を知ります。まじないでも、奇跡でも、教えでも、未知なる世界人でもありません。わたしたちと同じ人となられた神、イエスを通して神を知り、いのちのパンを知り、世の光を見るのです。これが神の愛です。

エジプトを出たイスラエルは、「まわり道」をするよう神に導かれました。彼らは小さく弱い民です。敵を見たら奴隷の世界へ引き返すおそれがあったからです。それでも彼らの行く手には海、荒野、渇き、飢え、不満が待ち受けていました。そのなかを導いたのは雲の柱、火の柱です。彼らは雲の柱、火の柱を神とはしませんでした。その背後に働く、見えない神に導かれました。

わたしたちも「まわり道」をしなければならい時があります。引き返して別の道へ迂回することも多々あります。それは神が導く道かも知れませんね。でも、目を上げて前を見ると、その先にイエスの後ろ姿＝背中が見えます。先回りしているイエスです。目を凝らしてみましょう。

日本キリスト教団浦河教会**週報**

No.24 2020年9月13日



教会創立 1956年

〒057-0022

北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

電話 (FAX) 0146-22-2904

牧師 五味 一

電話 (FAX) 0146-26-3043